

令和2年度 福島県立須賀川桐陽高等学校「学校経営・運営ビジョン」

本校は、創立58年を迎え、1万5千名以上の卒業生を社会に輩出している学校です。
校訓「英知」のもと、普通科・数理科学科の生徒が、一人一人の夢や希望に向かって日々、
学習や部活動に取り組んでいます。

①「教科指導」、②「生徒指導」、③「魅力ある学校づくり」を三本柱に据え、わかる授業で基礎学力の向上を図るとともに、深い学びの実現を目指して思考力を育みます。また、生徒の心に寄り添い、心に響く生徒指導で豊かな感性の陶冶を図り、「知・徳・体」のバランスのとれた健やかな成長を目指します。そして、「進学指導重点校」としてのミッションに基づき、生徒一人一人の進路目標の実現に向けて、教職員一丸となって真摯に取り組みます。

部活動や委員会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組む生徒を支援し、自ら学び、自ら考え、レジリエンスをもって力強く生きる生徒を育成します。

保護者・地域・同窓会の皆様のご理解とご協力のもと、ともに手を携え、地域から信頼され、愛される学校づくりを推進いたしますので、よろしくお願いいたします。

校長 井関 和 明



校章 「桐」

校訓「英知」

—教育目標—

- 1 個々の能力を開発し、個性を伸長し
知性豊かな人間を育成する。
- 2 自ら学び自ら考え、問題を解決できる
人間を育成する。
- 3 国際的な視野に立って、自己実現を
図る人間を育成する。

「確かな学力」・「豊かなこころ」・「健やかな体」をバランスよく育てる教育の推進

教科指導

教科外指導

学校経営

基礎学力の向上とキャリア教育の工夫

- 1 完全授業の実施および新大学入試制度に対応**
 - ・ 自習を少なくし、実質授業時間を確保します。
 - 数値目標＝年間25時間未満
 - ・ 令和2年度実施の新大学入試制度「大学入学共通テスト」に対応した指導を行います。
- 2 授業力の向上**
 - ・ 学力向上のために授業第一と捉え、教材研究にしっかり取り組みます。
 - ・ 各教科で授業研究を実施して、授業を改善します。
 - 数値目標＝毎年1回、全員が公開授業を行う。
 - ・ 各教科で生徒への授業アンケートを実施して、わかる授業を実践します。
 - 数値目標＝年に2回（1学期末、2学期末）
- 3 学習意欲の向上と学習習慣の確立**
 - ・ 朝自習への全員参加を徹底します。
 - ・ ノートの取り方をしっかり指導するとともに予習復習を励行させ、家庭学習を習慣化させます。
 - 数値目標＝家庭学習時間が平日学年＋1時間以上
考査前平日4時間以上
- 4 キャリア教育の工夫**
 - ・ 医療現場等における体験活動や地域で活躍されている外部の方々を招いての講演などを通して、望ましい勤労観・職業観を育てます。
- 5 進路希望の実現**
 - ・ 二者面談や三者面談の機会を捉え、きめ細やかな進路相談を心掛けます。

心に響く生徒指導の実践

- ## 1 基本的な生活習慣の確立
- ・ 遅刻防止、服装頭髮等の指導を徹底し、基本生活習慣を確立させます。
 - 数値目標＝遅刻者 1 日 5 名未満
 - ・ 校舎内での携帯電話の使用禁止を徹底します
 - ・ 教員生徒ともに挨拶を励行します。
 - ・ 各学年とも一貫した生徒指導を推進します。
- ## 2 豊かな心の育成
- ・ 自他の命を大切にする心を育てます。
 - ・ 教育相談やカウンセリングを実施し、生徒の心のケアに努めます。
 - ・ 校舎汚損防止の心と公德心を育みます。
- ## 3 主体的活動の育成
- ・ 部活動や委員会活動等、生徒の自主的活動を活性化させます。
 - ・ ボランティア活動等の社会活動に積極的な参加を促します。
 - ・ SDGsや環境問題に関心を持たせ、エコ活動を推進します。
- ## 4 学習環境の整備
- ・ 教室内の整理整頓・校舎内外の清掃を徹底し、学習に集中できる環境を整えます。
 - ・ 図書室、視聴覚室の設備を充実させ、活用しやすい環境を整えます。

魅力ある学校づくりの推進

- 1 信頼される学校づくりに欠かせない保護者、地域、中学校との連携推進
 - ・ P T A総会、実行委員会、公開授業、学年会等への保護者の参加を増やします。
 - 数値目標＝総会・学年会参加率 60%以上
公開授業参加者延べ200名以上
 - ・ 新入生が学習や人間関係等でつまづいた時、すぐに対応できるよう中学校との早期の連携を図ります。
 - ・ 広報やHP等を通して、地域に本校の魅力を伝え、本校に対する理解と協力を求めます。
- 2 新学習指導要領を見据えた普通科の探究活動の研究
 - ・ 新学習指導要領を見据え、数理科学科で培った課題研究の方法を、普通科でも推進します。
- 3 国際理解教育の推進
 - ・ オーストラリア姉妹校との交流を基にして、国際理解教育を推進します。
- 4 高大連携の推進
 - ・ 福島大学との連携を拡充し、機会をみつけ相互に有効な交流ができるように推進します。
- 5 外部機関と連携した生徒研修の充実
 - ・ 東北大学主催の「科学者の卵育成プロジェクト」等、外部機関の生徒研修に応募します。

